

# 農業共済事業特別会計

## 1 業務実績

各共済種目の業務量の前年度比較は、第1表の通りである。

### (1) 農作物共済

水稲共済引受は、戸数 2,227 戸(対前年度 51 戸減)で、面積 95,669 a(対前年度 1,674 a減)、引受収量 3,180,754kg(対前年度 92,173kg 減)、共済金額 690,223,618 円(対前年度 16,728,614 円減)となっている。

被害は、被害戸数 59 戸(対前年度 34 戸減)で、被害面積 746 a(対前年度 939 a減)、共済減収量 7,641kg(対前年度 6,416kg 減)、共済金支払額 1,658,097 円(対前年度 1,378,215 円減)となっている。

麦共済の引受は、県農作物改良協会の割当による種子用麦のみの栽培であり、戸数 18 戸(対前年度 2 戸減)で、引受面積 2,512 a(対前年度 409 a増)、引受収量 47,179kg(対前年度 5,668kg 増)、共済金額 8,878,959 円(対前年度 45,906 円減)となっている。引受収量が増加したにもかかわらず共済金額が減少したのは、種子用麦の単位当たり共済金額が 215 円/kgから 188 円/kgになったためである。

被害は、被害面積 77 a(対前年度 2 a減)で、共済減収量 725kg(対前年度 312kg 増)、共済金支払額 155,875 円(対前年度 1,000 円増)となっている。

また、損害防止事業として、市が実施する野生動物防護柵設置事業補助金にかかる財源として農業共済事業水稲共済損害防止事業助成金交付要綱に基づき 3,978,000 円助成している。

第1表 業務量の比較

### 農作物共済

(単位 : 戸・a・kg・円)

共済目的	年産	引 受 状 況					被 害 状 況			
		戸 数	面 積	引 受 収 量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共済減収量	共済金支払額
水 稲	20	2,227	95,669	3,180,754	475	690,223,618	59	746	7,641	1,658,097
	19	2,278	97,343	3,272,927	480	706,952,232	93	1,685	14,057	3,036,312
	増減	△ 51	△ 1,674	△ 92,173	△ 5	△ 16,728,614	△ 34	△ 939	△ 6,416	△ 1,378,215
	率	-2.2%	-1.7%	-2.8%	-1.0%	-2.4%	-36.6%	-55.7%	-45.6%	-45.4%
麦	21	18	2,512	47,179	268	8,878,959				
	20	20	2,103	41,511	282	8,924,865	3	77	725	155,875
	19	14	1,967	39,255	285	14,720,625	4	79	413	154,875
	増減	△ 2	409	5,668	△ 14	△ 45,906	△ 1	△ 2	312	1,000
	率	-10.0%	19.4%	13.7%	-5.0%	-0.5%	-25.0%	-2.5%	75.5%	0.6%

麦については共済の引受期間が2年度にわたるため、20年度の引受状況に関する数値は21年産麦の数値で、20年度の被害状況の数値は19年度の引受に対するものである。

## (2) 家畜共済

乳牛の引受は、農家戸数が2戸(対前年度2戸減)で、頭数は133頭(対前年度192頭減)、1頭当たり共済金額99,436円(対前年度23,967円増)となっている。

被害は、病傷事故が85件(対前年度2件減)で、共済金支払額が1,269,020円(対前年度471,280円減)、死廃事故が17件(対前年度1件減)で、共済金支払額が1,669,262円(対前年度736,313円増)となっている。

肉用牛(肥育)の引受は、農家戸数は7戸(前年度と変わらず)、頭数が1,264頭(対前年度151頭増)、1頭当たり共済金額が132,582円(対前年度16,886円増)となっている。

被害は、病傷事故が263件(対前年度120件減)で、共済金支払額が3,190,910円(対前年度312,930円減)。死廃事故が25件(対前年度3件減)で、共済金支払額が2,436,657円(対前年度47,053円増)となっている。

肉用牛(その他)の引受は、農家戸数は19戸(対前年度1戸減)、頭数が400頭(対前年度47頭増)、1頭当たり共済金額が136,980円(対前年度935円減)となっている。

被害は、病傷事故が172件(対前年度22件減)で、共済金支払額が1,516,350円(対前年度98,880円減)。死廃事故が16件(対前年度11件増)で、共済金支払額が1,448,513円(対前年度877,689円増)となっている。

一般馬の引受は、農家戸数1戸(前年度と変わらず)で、頭数が18頭(対前年度5頭増)、1頭当たり共済金額が105,556円(対前年度2,137円減)となっている。

被害は、病傷事故が1件(対前年度1件減)で、共済金支払額が20,200円(対前年度11,240円減)となっている。

また、一般損害防止事業として予防衛生薬剤の配布に265,320円、特定損害防止事業として県連合会へ委託し疾病等予防活動に648,500円を支出している。

## 第1表 業務量の比較

### 家畜共済

(単位 : 戸・頭・円・件)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況			
		戸 数	頭 数	共 済 金 額	1 頭 当 り 共 済 金 額	病 傷 事 故		死 廃 事 故	
						件 数	共 済 金 支 払 額	件 数	共 済 金 支 払 額
乳 牛	20	2	133	13,225,000	99,436	85	1,269,020	17	1,669,262
	19	4	325	24,527,600	75,470	87	1,740,300	18	932,949
	増減	△ 2	△ 192	△ 11,302,600	23,967	△ 2	△ 471,280	△ 1	736,313
	率	-50.0%	-59.1%	-46.1%	31.8%	-2.3%	-27.1%	-5.6%	78.9%
肉(肥 用 育 牛)	20	7	1,264	167,583,732	132,582	263	3,190,910	25	2,436,657
	19	7	1,113	128,770,000	115,696	383	3,503,840	28	2,389,604
	増減	0	151	38,813,732	16,886	△ 120	△ 312,930	△ 3	47,053
	率	0.0%	13.6%	30.1%	14.6%	-31.3%	-8.9%	-10.7%	2.0%
肉(そ の 他 牛)	20	19	400	54,792,000	136,980	172	1,516,350	16	1,448,513
	19	20	353	48,684,000	137,915	194	1,615,230	5	570,824
	増減	△ 1	47	6,108,000	△ 935	△ 22	△ 98,880	11	877,689
	率	-5.0%	13.3%	12.5%	-0.7%	-11.3%	-6.1%	220.0%	153.8%
一 般 馬	20	1	18	1,900,000	105,556	1	20,200	0	0
	19	1	13	1,400,000	107,692	2	31,440	0	0
	増減	0	5	500,000	△ 2,137	△ 1	△ 11,240	0	0
	率	0.0%	38.5%	35.7%	-2.0%	-50.0%	-35.8%	-	-

### (3) 畑作物共済

引受は、戸数 212 戸(対前年度 12 戸減)で、引受面積 7,583 a(対前年度 466 a増)、引受収量 49,416kg(対前年度 1,905kg 減)、共済金額 76,829,094 円(対前年度 3,139,745 円減)となっている。

被害は、被害戸数 25 戸(対前年度 83 戸減)で、被害面積 691 a(対前年度 2,501 a減)、共済減収量 1,757kg(対前年度 7,113kg 減)、共済金支払額 2,769,032 円(対前年度 11,210,088 円減)となっている。天候も良好で台風の上陸もなかったことで被害が少なかったためである。

## 第1表 業務量の比較

### 畑作物共済

(単位 : 戸・筆・a・kg・円)

共済目的	年度	引 受 状 況					被 害 状 況			
		戸 数	面 積	引受収量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共 済 減 収 量	共 済 金 支 払 額
大 豆	20	212	7,583	49,416	90	76,829,094	25	691	1,757	2,769,032
	19	224	7,117	51,321	90	79,968,839	108	3,192	8,870	13,979,120
	増減	△ 12	466	△ 1,905	0	△ 3,139,745	△ 83	△ 2,501	△ 7,113	△ 11,210,088
	率	-5.4%	6.5%	-3.7%	0.0%	-3.9%	-76.9%	-78.4%	-80.2%	-80.2%

### (4) 園芸施設共済

引受は、戸数 26 戸(対前年度 5 戸増)で、引受棟数 72 棟(対前年度 2 棟減)、共済金額は 25,383,000 円(対前年度 1,297,000 円減)となっている。

被害は、被害戸数5戸(対前年度3戸減)で、棟数6棟(対前年度4棟減)、共済金支払額294,127円(対前年度40,507円減)となっている。

第1表 業務量の比較

園芸施設共済

(単位：戸・棟・㎡・円)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況				
		戸数	棟数	面積	共済価格	共済金額	戸数	棟数	損害額	共済金支払額
プラスチックハウス 内作無し	20	26	72	15,947	31,774,000	25,383,000	5	6	368,237	294,127
	19	21	74	16,473	33,396,000	26,680,000	8	10	419,618	334,634
	増減	5	△2	△526	△1,622,000	△1,297,000	△3	△4	△51,381	△40,507
	率	23.8%	-2.7%	-3.2%	-4.9%	-4.9%	-37.5%	-40.0%	-12.2%	-12.1%

## 2 予算の執行状況

### (1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第2表の通りである。

収益的収入の合計は、予算額95,832,000円に対して、決算額は76,731,238円で、予算額に対して△19,100,762円であり、その執行率は80.1%となっている。

収益的支出の合計は、予算額95,832,000円に対して、決算額は70,528,492円で、不用額は25,303,508円であり、執行率は73.6%となっている。

#### ① 収益的収入

農作物共済勘定では、予算額16,970,000円に対して、決算額は12,572,974円(執行率74.1%)で、予算額に対して△4,397,026円である。

家畜共済勘定では、予算額19,035,000円に対して、決算額は17,144,661円(執行率90.1%)で、予算額に対して△1,890,339円である。

畑作物共済勘定では、予算額18,713,000円に対して、決算額は7,690,744円(執行率41.1%)で、予算額に対して△11,022,256円である。

園芸施設共済勘定では、予算額1,132,000円に対して、決算額は662,652円(執行率58.5%)で、予算額に対して△469,348円である。

業務勘定では、予算額39,982,000円に対して、決算額は38,660,207円(執行率96.7%)で、予算額に対して△1,321,793円である。

#### ② 収益的支出

農作物共済勘定では、予算額16,970,000円に対して、決算額は7,457,384円(執行率43.9%)で、9,512,616円の不用額である。

家畜共済勘定では、予算額19,035,000円に対して、決算額は16,983,255円(執行率89.2%)で2,051,745円の不用額である。

畑作物共済勘定では、予算額18,713,000円に対して、決算額は6,812,420円(執行率36.4%)

で、11,900,580 円の不用額である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,132,000 円に対して、決算額は 615,226 円（執行率 54.3%）で、516,774 円の不用額である。

業務勘定では、予算額 39,982,000 円に対して、決算額は 38,660,207 円（執行率 96.7%）で、1,321,793 円の不用額である。

第2表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

区 分	収 入				支 出				当該年度 純 利 益
	予 算 額	決 算 額	増 減	執行率	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	
農 作 物 共 済 勘 定	16,970,000	12,572,974	△ 4,397,026	74.1%	16,970,000	7,457,384	9,512,616	43.9%	5,115,590
家 畜 共 済 勘 定	19,035,000	17,144,661	△ 1,890,339	90.1%	19,035,000	16,983,255	2,051,745	89.2%	161,406
畑 作 物 共 済 勘 定	18,713,000	7,690,744	△ 11,022,256	41.1%	18,713,000	6,812,420	11,900,580	36.4%	878,324
園 芸 施 設 共 済 勘 定	1,132,000	662,652	△ 469,348	58.5%	1,132,000	615,226	516,774	54.3%	47,426
業 務 勘 定	39,982,000	38,660,207	△ 1,321,793	96.7%	39,982,000	38,660,207	1,321,793	96.7%	0
合 計	95,832,000	76,731,238	△ 19,100,762	80.1%	95,832,000	70,528,492	25,303,508	73.6%	6,202,746

### 3 経営成績

#### (1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第3表の通りである。

全体で、収益 76,731,238 円に対して費用 70,528,492 円で、差引 6,202,746 円の当年度純利益を計上している。

前年度と比べると、収益は 9,881,708 円、費用も 10,232,847 円減少している。

勘定科目ごとに見ると、農作物共済勘定は、収益 12,572,974 円に対して、費用は 7,457,384 円で、5,115,590 円の当該年度純利益となっている。

家畜共済勘定は、収益 17,144,661 円に対して、費用は 16,983,255 円で、141,406 円の当該年度純利益となっている。

畑作物共済勘定は、収益 7,690,744 円に対して、費用は 6,812,420 円で、878,324 円の当該年度純利益となっている。

園芸施設共済勘定は、収益 662,652 円に対して、費用は 615,226 円で、47,426 円の当該年度純利益となっている。

業務勘定は、収益・費用とも 38,660,207 円である。

#### (2) 収 益

##### ① 事業収益

事業収益は 68,792,459 円で、前年度に比べ 9,552,653 円（△12.2%）減少している。主に畑

作物共済勘定において、保険金で 10,089,080 円 (△80.2%) 減少したことによる。

② 事業外収益

事業外収益は 7,938,779 円で、前年度に比べ 329,055 円 (△4.0%) 減少している。

(3) 費用

① 事業費用

事業費用は 70,528,492 円で、前年度に比べ 10,232,847 円 (△12.7%) 減少している。

② 事業外費用

事業外費用は昨年同様、なしである。

## 4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第4表の通りである。

### (1) 資産

資産総額は157,030,658円で、前年度末に比べ3,141,363円(2.0%)増加している。

#### ① 流動資産

流動資産は156,332,301円で、前年度末に比べ3,664,440円(2.4%)増加している。主に業務勘定において現金預金が861,421円(1.4%)、各共済勘定から業務勘定への一時貸付金が1,397,494円(1.9%)、未収金が1,405,525円(7.1%)増加したことによる。

#### ② 固定資産

固定資産は698,357円で、前年度末に比べ523,077円(△42.8%)減少している。

有形固定資産の減価償却費である。

### (2) 負債

負債は84,089,823円で、前年度末に比べ1,741,393円(2.1%)増加している。主に業務勘定において、一時借入金が1,397,494円(1.9%)、未払金が394,912円(7.8%)増加したことによる。

固定負債は全て業務引当金4,353,168円で、前年度末と同額である。

### (3) 資本

資本は72,940,835円で、前年度末に比べ1,399,970円(2.0%)増加している。

剰余金は66,738,089円で、前年度末に比べ1,048,831円(1.6%)増加している。内訳は、法定積立金が29,904,371円で、前年度末に比べ317,767円(1.1%)増加し、特別積立金が36,833,718円で、前年度末に比べ731,064円(2.0%)増加している。

当該年度末処分剰余金は、6,202,746円となっている。

## 5 まとめ

決算の概要は前述の通りである。

本市の農業共済事業の事業規模は、水稲における水田農業構造改革の取組みや、家畜及び園芸施設における農業経営者の高齢化や後継者不足等による資源の減少に伴い、引受実戸数は 2,293 戸、共済金額は 1,038,861 千円で前年度と比較し 0.7% (△7,158 千円) 増加している。

一方被害の発生状況では、水稲及び大豆では天候条件が良好で台風の上陸を免れたものの猪・鹿等の獣害により、共済金支払額は水稲で 1,658 千円 (対前年度比 1,378 千円・45.4%減)、大豆で 2,769 千円 (対前年度比 11,210 千円・80.2%減) となっている。麦、家畜及び園芸施設においては、いずれも概ね前年度並みの共済金支払額となっている。

損害防止事業については、水稲及び家畜について実施し共済事故の低減に努められているが、さらに関係機関との連携を図り、病害虫発生状況等の情報提供など被害の未然防止の啓発に一層努められたい。

経営状況については、全ての共済勘定で純利益が発生し、当該年度純利益は農作物共済勘定で 5,116 千円、家畜共済勘定で 161 千円、畑作物共済勘定で 878 千円、園芸施設共済勘定で 48 千円、合計 6,203 千円を計上する結果となり、農作物共済では全額を特別積立金へ、その他においては 1 / 2 ずつ法定積立金と特別積立金へ積み立て、将来の被害に備えるとともに損害防止事業等の財源として確保している。

今後とも損害防止事業の推進等により健全な財政運営を図られるとともに、任意加入の推進を図り農業災害補償法の趣旨に添った加入者の利便性を高める損害補填の充実に努められたい。